

ブラインド・ガイド RUN サークル あいりす 代表：寺本 重和
2018 活動報告

酒井 翔太 (県立盲学校 4年) より

ぼくは、あいりすに入って二年目になります。入ろうと思ったきっかけは、学校の友達が先に始めていて、おもしろそうだったからです。

最初は走るペースをどれくらいにすれば良いかわからなかったけれど、伴走者の人に教えてもらってわかるようになってきました。柔軟や筋力トレーニングそして、伴走者の人とおしゃべりしながら走るのが楽しいです。

砺波マラソンでは、初めて車道で走り、とても気持ちよかったです。

次の大会では、もっとタイムをちぢめたいです。

砺波庄川散居村マラソン



能登島トライアスロン大会ボランティア

「いつの間にか、初伴走」：上田 香央里 より

「一緒に走る？」と友達に誘ってもらい、あいりすの活動に参加したのが1年前。元から走るのは好きだったけど、あいりすのみなさんと練習していく中で、やっぱり「楽しいな～」と実感しました。そうこうしているうちに、寺本さんから「これ、香央里さんの分です」と、オレンジ色の『伴走』と書いたビブスを手渡されました。他のメンバーの方は強者のランナーばかり。そんな人たちが伴走するものだと思っていました。

でも、東くんと練習をしていくうちに、「大丈夫かも」と思えるようになりました。東くんが楽しいおしゃべりでリラックスさせてくれるから…なのですが。

そして、庄川散居村マラソンの日。「そういえば、私、初の伴走なんだ。本当にちゃんとできるかな…」と不安がよぎります。

最初の5キロは、東くんと滝崎さんが走っているのを見て、「気を付けるところはどこなのか？」と観察しながら後ろから。2人がとても楽しそうに走っているの、私の不安もどこかへ行ってしまいました。自分に交代してからは、東くんと一緒に、秋の清々しい空気を感じながら気持ちよく走ることができました。

あいりす のみなさんのおかげで、晴れて伴走デビューすることができました。しかし、視覚障がいの方とともに走るには、自分にはまだまだ課題が多いのではと思います。自分の走る力を向上させることと、伴走についてもっとしることを目指して、少しずつではありますが、努力していきたいです。

能美市耐寒継走



学校職員 T より

私は、マラソンを始めて5年になる市民ランナーです。練習は辛いこともありますが、仲間と一緒に走ったら頑張れます。自分の健康はもちろん家族の理解や支え、仲間の力、大会となれば運営して下さるスタッフ、そして、沿道の応援など多くの方々の支えがあって楽しく走ることができています。この走れる喜びを少しでも役に立たせてもらえるなら…と、ブラインドランの活動に参加させていただいています。

2年前にブラインドランサークルに名前を付けようということで「あいりす」と提案しました。「あいりす」の花言葉は、「希望・信頼・友情」です。ブラインドランナーとガイドランナーが一本のロープでこの花言葉のように繋がり、共に走る喜びを感じたい、との想いをこめています。そこにサークルを立ち上げた寺本さんが、「あい」は、私の「I」、目の「eye」、愛情の「愛」、出会いの「会い」ですね、と言葉の隠された力を見つけて下さいました。この「あいりす」に込められた想いを胸に練習を頑張っています。

今は、主にブラインドランナー3名が練習に参加しており、各大会でベストを尽くしました。目標の距離を一生懸命に走りきった喜びは、ガイドランナーとして胸に響くものがあります。練習には視覚障害者だけでなくその兄弟や時には保護者も参加され、楽しく走っています。走ることに興味があるなら、是非「あいりす」に遊びに来て下さい！

みんな、笑顔いっぱいであなただけのことを待っています！